

新潟市道路橋の維持管理 基本方針(案)～戦略的な維持管理体制への深化～

1 道路橋の概要と課題

- 新潟市橋梁長寿命化修繕計画(平成22年度)
- 新潟市財産経営推進計画(平成27年度)

道路法改正に伴い
全道路橋の点検が義務化
(平成25年度)

新潟市管理の道路橋(4,040橋)		
大規模橋梁 L=15m以上	640橋	16%
小規模橋梁 L=15m未満	3,400橋	84%

新たな課題
○点検(近接目視)

全道路橋の点検義務化による点検費の増大
全道路橋の点検義務化による点検者の不足

以前からの課題
○修繕費の増大
○老朽化の加速
○その他

耐用年数間近の橋梁が増加
汚れによるサビ・腐食の進行
施工時期が冬期間(年度末)に集中し、品質確保が困難
点検結果の妥当性評価

新潟市橋梁アセットマネジメント
検討委員会(産・学・官の連携)

2 基本方針

戦略的な維持管理体制への深化を図る！

- (1)新潟市橋梁長寿命化修繕計画の見直し
- (2)コスト縮減・品質向上などに資する契約方法の検討

ソフト対策

ハード対策

3 取組 (1)ソフト対策

戦略的な修繕計画の策定
効果的な維持管理の推進
点検・診断体制の強化

(2)ハード対策

予防保全と生産性向上によるコスト縮減
年間業務の平準化、工事の更なる品質向上
点検者不足の解消

モデル事業(社会実験)

- ①事後保全脱却モデル
- ②長寿命化推進モデル
- ③小規模橋梁の点検モデル

4 取組の現状 (1)ソフト対策

①戦略的な修繕計画の策定

～道路橋の重要度等に応じ、補修優先度や補修内容を決定～

- 重要度評価は、橋梁の劣化に影響を与える交通量を重視
- 重要度評価において、迂回路の距離を考慮
- 重要度等により、シナリオ※を設けメリハリのある維持管理・補修を強化

※シナリオ:重要度・橋梁形式等に応じ、橋梁ごとに維持管理するレベルを変化させる

②効果的な維持管理の推進

～重要な道路橋は、更なる長寿命化により橋梁の更新を抑制～

- 重要度等により、シナリオを設けメリハリのある維持管理・補修を強化【再掲】
- 長大橋等の重要橋梁は、新たなメンテナンスを導入し、手厚い予防保全により長寿命化を推進(水洗いや日常点検などのメンテナンス内容は、H29モデル事業で検討する)

③点検・診断体制の強化

～健全度審査会議の設置・点検要領の改訂～

- 健全度評価において、専門家で構成する会議に諮る
- これにより、緊急対応や要架替と診断した橋梁の妥当性を評価

4 取組の現状 (2)ハード対策

- ◎ 事後保全脱却モデル →橋梁修繕のスピードアップを図るため、設計と施工を同時に発注
【東部地域土木事務所2件(7橋) 契約済】
【西部地域土木事務所1件(5橋) 契約済】
- ◎ 長寿命化推進モデル →長寿命化を図るため、橋梁に見合った細かいメンテナンス方法を検討
【H29年度 対象橋梁選定を行い実施】
- ◎ 小規模橋梁点検モデル →簡便なシステムを利用した点検手法により、
【西区建設課1件(90橋) 契約済】 小規模橋梁の点検を簡略化

◎ スケジュール

モデル事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度以降
長寿命化修繕計画改訂		新長寿命化修繕計画	
モデル事業(社会実験)		社会実験	検証・フィードバック

取組の概要